●水産業

管内は、日本海の石狩湾に面し、砂浜や段丘、懸崖、岩磯が連なる変化に富んだ海岸線を有するとともに、石狩川などから運び込まれる豊富な栄養分によって、海藻類の繁茂する藻場が浅海に広がるなど、豊かな地形条件を備えています。

沿海市町村は、約 72ｋｍの海岸線を有する石狩市の１市で、令和４年の漁業生産は、数量 7,822 トン（全道割合 0.7%）、金額 4,501 百万円（同 1.4%）で、全道に占める割合は小さいものの、多種類の魚介類に恵まれ、石狩市の重要な産業として、地域を支える一翼を担っています。

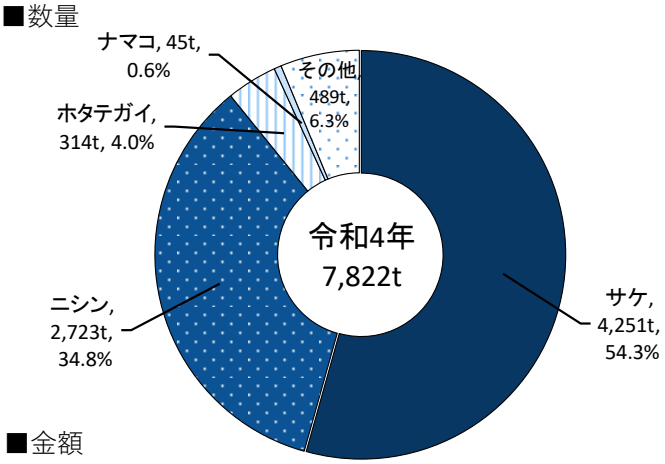
主要な魚介類は、サケ、ニシン、ナマコ、ホタテガイですが、この４魚種で、生産額の約９割を占めており、依存度の高い漁業となっていますので、漁業関係者連携の下、資源の持続的な利用が図られるよう種苗放流や資源管理に取り組んでいます。

特に、ニシンについては、平成８年度からの北海道が実施した「北海道ニシン資源増大プロジェクト」の成果と漁業者の徹底した資源管理方策が相まって、今や 2,000 トンを超える漁業資源に成長しています。また、現在では、毎年のように、沿岸域で「ニシンの群来」も見られるようになっており、石狩市の漁村地域に、微笑みと活気をもたらしています。

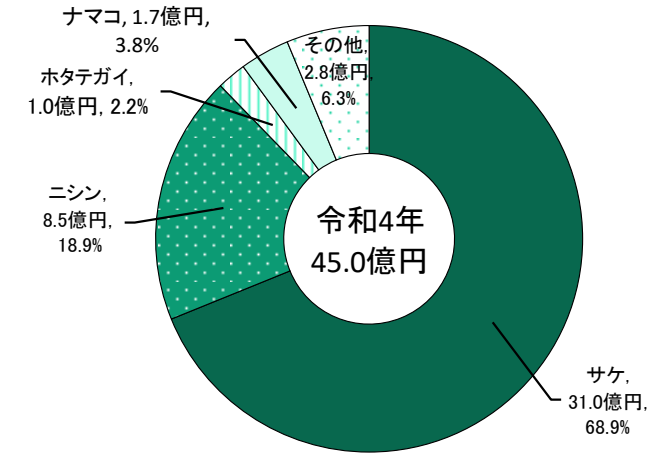
さらには、春から夏にかけて、石狩、厚田区及び浜益区の３地区で、それぞれの特色ある漁業者主体の「朝市」が開催されており、都市近郊の地域特性を生かした産直事業として、さらなる発展が期待されています。

〈石狩管内の魚種別生産高〉

■数量



■金額



出典：北海道水産現勢（調査時期 R5.11.30）

サケの水揚げ（石狩市）　９月

ヒラメ種苗放流（石狩地区）　７月

ニシンの精子で海面が白濁
「ニシンの群来」（厚田区）H29.2.28

いしかり湾朝市

厚田朝市

浜益ふるさと市場（朝市）（浜益漁港）